

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	耐風設計資料小委員会	主 査 名：田村哲郎 就任年月：2018 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：高橋 徹
設 置 期 間	2018 年 4 月 ～ 2020 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	『建築物荷重指針・同解説』2015 年版における課題とその対応策および新しい導入事項を整理する。また、風荷重評価で CFD の適用が認められたことに伴い、耐風設計法における新規の方向性を明確化することをめざす。 初年度：風圧・風力の推定に関して、風洞実験、CFD により得られた数値のばらつき、精度について吟味し、それぞれの手法の特徴を整理するとともに性能設計高度化への道筋を検討する。 2 年度：荷重指針改定の具体的な活動方針を中長期的な視点から明確化。CFD 適用ガイドの公表後、2 年経過した状況で課題を明確にするとともに対応 策を提示する。近年の極端気象に対する被害の調査と要因を分析する。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：田村哲郎 (東京工業大学) 幹事：岸田岳士 (電力中央研究所)、谷口徹郎 (大阪市立大学) 委員：小野佳之 (大林組)、勝村章 (風工学研究所)、喜々津仁密 (国土技術政策総合研究所)、近藤宏二 (鹿島建設)、佐藤大樹 (東京工業大学)、田中英之 (竹中工務店)、野津剛 (清水建設)、松井正宏 (東京工芸大学)、道岡武信 (近畿大学)、山田貴博 (横浜国立大学)、吉江慶祐 (日建設計)、吉川優 (大成建設)	
設置 WG (WG 名：目的)	CFD 不確定性の定量化 WG：CFD における不確定性の定量化 (UQ) の検討／設計風速評価 WG：設計風速を評価する上での課題抽出／CFD 荷重算定 WG：耐風設計における CFD の明確化／風疲労 WG：次回指針改定時の風疲労に関する項目の導入／実大ストームシミュレータ目標性能検討 WG：実大実験実現のための実大シミュレータの目標の検討／風工学・気象 WG：CFD を活かした風工学と気象学の融合／耐風設計データベース WG：計算コード検証のためのデータベースの整備／	
2019年度予算	320,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：－

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む) 4/10, 6/14, 8/23, 11/13, 2/19
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	1. PD：頻発する極端気象に対する強風被害調査・要因分析・荷重設定 参加者数 79 名 『構造部門 (荷重) パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. CFD 風荷重算定マニュアルの作成準備が順調に進捗 2. 新規課題である UQ について検討方法がまとまりつつある。また気象に関する知見についても整理された。
委員会活動の問題点・課題	1. 風荷重関連の指針における外装材に関し、その方向性の吟味。 2. CFD 適用ガイドにおける評価方法に関する高度化、データベースの具体的な構築・公開方法